

議員（塩野 拓二）

失礼いたします、2番、塩野拓二です。

一般質問をさせていただきます。

まず1点目、私は平成28年9月議会で、これからの4幼稚園、4小学校について質問しました。

その際に、教育課題検討委員会を立ち上げ、検討を進めていくという答弁をいただきました。

その後の委員会における進捗状況はいかがですか。

また、どのようなことが検討され、どの程度まで方向性が示せているのか、ご答弁よろしくお願いたします。

教育長（田尾 勝）

塩野拓二議員の教育課題検討委員会の進捗状況と方向性の明示についての質問にお答えします。

教育課題検討委員会は、昨年度8月28日に第1回が開催されました。

その後、2カ月に1度の割合で続け、これまで5回の教育課題検討委員会が開催されました。

その間、議会に対しては昨年9月、総務教育常任委員会で第1回の教育課題検討委員会の協議内容について報告し、12月の全員協議会では第2回までの協議内容について報告してまいりました。

第1回では、諮問文の確認と園児・児童の実態と施設整備の現状を把握する中で、検討することの必要性について共通理解を図りました。

第2回では、幼稚園、小学校の学級編制の状況、県下の再編制状況をもとに、どのような再編制を進めていくべきなのかを検討しました。

第3回では、小規模校と一定規模の人数を確保した園、学校のメリットとデメリットについて洗い出し、検討しました。

第4回では、今後のあるべき幼稚園と小学校の姿について、子供、教員等の人的側面と施設設備、環境などの物的な側面から検討しました。

第5回では、あるべき姿を実現するための適正規模と目標年次について検討しました。

適正配置については、図化し、可視化することで方向性を見出すように検討を始めています。

これまで、主として1回目から3回目までは子供の数の推移、学級編制の状況、園舎、校舎の状況、施設設備の維持管理、更新等のデータをもとに検討し、第4回、5回では今後の幼稚園、小学校のあるべき姿を探りながら、多度津町の子供たちの健やかな成長を図る幼稚園教育、小学校教育を生み出す環境について検討しております。

第6回以降では、こうしたことを総合して、本年度中に町内幼稚園、小学校のあるべき姿と適正配置と適正規模についての答申を盛り込んだ基本方針案を作成する見込みであります。

今後も、議会に対しては逐次報告しながら進めてまいりますので、よろしくご意見賜りますようお願いいたします。

また、教育課題検討委員会では、開かれた形で進め、多度津町の子供たちの健やかな成長を願って真摯に意見を受けとめ、検討してまいりますので、ご理解賜りますようお願いして答弁とさせていただきます。

議員（塩野 拓二）

ありがとうございます。

5回まで、様々な方向から詳しく検討されていますし、前に向かって検討されていることがよく理解できます。

第6回目以降は、ご答弁の中に随時とありましたが、毎回検討委員会があるたびに我々議員のほうに簡単にで結構なんで結果を報告していただくことは可能でしょうか。

また、今年度中に適正配置、適正規模について答申とありますが、漠然とではありますが、きちんと今年度のいつまでにとゴール地点を決めて、どうする、こうするという答えを出さないといけないと思います。

学校の老朽化のことも含めて、適正配置、適正規模について今年度中にきちんとでなくても結構なので、これかこれかあれかと決めるというご答弁はいただけますでしょうか、お答えください。

教育長（田尾 勝）

塩野議員の質問にお答えします。

一回、対極的に見たら、第6次多度津町総合計画では学校規模の適正化に関する協議の実施について、基本方針案の策定を平成28年度から29年度の大きな重点取り組みとして、町全体の施策、計画として進めております。

その中で、学校教育としては適正規模、適正配置については、この2年間で基本方針を策定していくということで、今しておるということをまずご理解していただいて、先ほど塩野議員さんが言われた、まず検討委員会の検討内容について、委員会が終わって、その後報告は随時行っていきたいとまずは考えておりますので、またその時にはいろいろご意見よろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、はっきりしたゴールを明確にしてほしいということですが、今第6回から本当に統合された形で、具体的な案を検討していくということになるんですが、そのまとめ方等についても検討しております。

どのような表現、どのような事柄で基本施策をまとめたらいいか

というのも、今先ほど議員さん言われたように、1校とか2校とかということ
でまとめたらいいか、折衷案でまとめたらいいか、一応方向性としてど
の方向性というような事柄でまとめたらいいか、基本方針ですから、その
まとめ方についても検討委員会で十分検討しながら、ご提示できるようにし
ていきたいなと思っています。

先ほど申しましたように、検討委員会で検討するわけですが、議会の議
員さんのお話を聞いたり、また町民の方々からも意見を聞いたりする場を設
けながら、円滑にしかも確かに基本方針案が策定できるように努力してまい
りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

当然、年度ですが、本年度末には提出するという事ですから、その前
段階である程度の形はお示ししながら、また意見をいただくという場もあろ
うとは思ひます。

どうぞよろしくお願ひします。

議員（塩野 拓二）

ありがとうございます。

この学校の4幼稚園、4小学校の問題については、行政、議会、それも含めて
町民の皆様にも全ての方に理解をいただきながら進めるところはなかなか難し
いと思ひます。

それにしても、老朽化の問題も含みますので、議会ともども一緒にやって、
できるだけ早く進めていけたらいいなと思ひております。

続きまして、2点目の質問に入ります。

今年に入り、跨線橋の工事も始まり、多度津駅の周りも何となくがやがやと
なってきたような感じを受けます。

いよいよ、この工事を皮切りに、多度津駅周辺開発整備をどんどん前に進め
ていかないとはいけません。

以前、私が質問させていただいたとき、町長は思いとしては多度津駅南側町
有地に庁舎を移転建設とお答えをいただきました。

また、ちまたでは庁舎と商業施設やホテルなどを含めた複合施設とのお考え
もあるようにお聞きをしました。

どちらにしても、今の庁舎や福祉センターは老朽化が進み、いち早く改築が
望まれています。

また、平成32年までと時期が決められている緊急防災・減災事業債を利用す
ることも考えれば、早急に物事を一つ一つ進めていかないとだめだと思ひま
す。

そこで、質問させていただきます。

駅前の開発整備を進めていくにも、商業施設やホテルを誘致するにも、お金

も時間もかかります。平成32年の緊急防災・減災事業債を活用するのであれば、駅南側町有地、もしくは他の候補地も踏まえて、先に総合庁舎を建設するお考えはありますか。

また、現在の庁舎、福祉センターの土地の活用方法のお考えはありますか。町長の思いだけで結構です。

ご答弁、よろしく願いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

塩野議員ご質問の多度津駅周辺開発整備についてで答弁をしていますが、今この段階で議会にはお諮りしていない段階での塩野議員の中で、私の思いだけでよいということでしたので、その前提のもとで答弁をさせていただきます。

まず、1つ目の先に総合庁舎を建設する考えはあるかのご質問についてでございますが、庁舎につきましては昭和45年に、また福祉センターにつきましては昭和49年にそれぞれ建設されたもので、以来、町民の皆様にご愛されてまいりましたが、両施設とも既に四十数年を経過しており、老朽化による雨漏りなどの維持管理上の問題や今後30年以内に発生するとされる南海トラフ大地震に対する耐震性、また津波により浸水が予想される区域に現在立地しているということから、議員のおっしゃられるとおり、その建てかえが急務になっております。

また、議員ご指摘の庁舎建てかえの財源といたしましては、従来平成28年度末までとされていた緊急防災減災事業債（緊防債）の期限が昨年末に平成32年度末までに延長をされました。

この起債は、充当率100%かつ交付税算定率が70%という起債の中でも最も有効かつ有利なものであることから、庁舎等の建てかえを行う場合には、町の財政運営への影響を考慮すると、緊防債の活用は不可欠であると考えております。

緊防債は、対象になる期限が平成32年度までになっているのはもとより、活用する場合の条件といたしまして、防災対策の拠点である役場庁舎を津波浸水想定区域外に移転する必要があります。

また、対象となるのは現在の規模での建てかえ部分のみであり、ほかの附帯的な施設建設は対象にならないこと等を考えますと、まず役場庁舎の建てかえを優先して、パーク・アンド・ライドを駐車場に隣接する約5,000㎡の町有地に緊防債の対象になる期限内に建設するほうがよいのではないかと考えております。

議員ご指摘の商業施設やホテルなどのにぎわいづくりの施設につきましては、今後多度津駅周辺開発整備を検討していく中で、町有地以外を活用する

ことも含め、考えてまいります。

2点目のご質問の現在の庁舎、福祉センターの土地の活用方法についてであります。現庁舎用地につきましては、県が隣接する多度津高校において、校舎整備の検討を行っているところであり、これらのことも視野に入れながら、活用方策を検討していきたいと考えております。

また、現福祉センター用地につきましては、多度津小学校に隣接していることから、議員の先ほどの質問にもありました教育課題検討委員会における検討状況なども踏まえながら、有効活用を図りたいと考えております。

いずれにいたしましても、役場庁舎建てかえを含め、多度津駅周辺開発整備につきましては、議会の皆様のご意見をいただきながら、計画案を取りまとめ、早く議会にお諮りしたいと考えております。

その上で、建設的な議論を展開できることを心から期待をしております。

以上、私の思いではありますが、ご理解を賜りますようお願いを申し上げ、答弁とさせていただきます。

議員（塩野 拓二）

町長の思いということでご答弁いただきましたが、非常に詳しいご答弁ありがとうございました。

やはり、庁舎を含めた総合的な駅前の開発にはお金も時間もかかると思います。

その部分は議会のほうの特別委員会なんかも含めて、じっくり議論ができればと思っています。

庁舎を優先的にとありますが、平成32年という期限が決まっています。

議会も含めて協力的に早急に前に進めていかないといけないと思います。

今は、町長の思いではありますが、詳しいご答弁を聞いていますと、非常に現実的な話のように聞こえます。

町長としては、現実的な話のように聞こえたので、これから先に委員会なんかを立ち上げて、本当に前に進めていってほしい気持ちが私としてはありますけども、その部分に関してはいかがでしょうか。

また、行政側、議会のそういった思いが一つの方向性に向いていってあげれば、早く検討していってほしいのですが、思いだけで結構なので、ご答弁をお願いいたします。

町長（丸尾 幸雄）

ただいまの塩野議員のご質問は、これは役場庁舎の建てかえだけではなくて、地域創生事業の中の大きな拠点としての駅周辺の開発だと考えております。

多度津町の地方創生、移住定住、交流人口を増やして、そして多度津町を活

性化していく、そのためにはやはり歴史と伝統文化を踏まえたまちづくりが、そして人づくりが必要であるという基本的な考えの中で、今役場の庁舎を含めた駅周辺開発対策を考えているところであります。

総合的な考えの中で、先ほど私の思いとして申し上げさせていただきました。

それは、まだ先ほども申しましたように、議会の皆様にはお諮りしてないことですので、今は私の思いとしてお話をさせていただきましたが、緊防債の時期等、また老朽化した施設等を踏まえて、優先的に先にやらなければいけない事業も建設もあるのではないかと考えておりますので、これから案を作成いたしまして、議会の特別委員会の中でお諮りをいただけたらと思っております。

どうか議員皆様のご理解をいただきまして、この駅周辺活性化対策事業がスムーズにとり行われますとことを心から期待をして、答弁とさせていただきます。

議員（塩野 拓二）

度々思いとしての詳しい答弁、ありがとうございました。

また、庁舎と福祉センターの土地の活用も非常に詳しいお答えもいただきました。

ありがとうございます。

今回は、非常に有意義な一般質問ができたと思います。

ありがとうございました。

以上で終わります。